

Contents

目次

刊行にあたって 和嶋浩一

序章	歯学部における臨床推論	7
Section 1	臨床推論とは何か 内田貴之	8
Section 2	歯科における臨床推論の特徴 内田貴之	10
Section 3	モデル・コア・カリキュラムについて 内田貴之	14

第1章	臨床推論とは	17
Section 1	日常臨床で診断精度を上げるための臨床推論 和嶋浩一	18

第2章	臨床推論に必要な基礎知識	23
Section 1	口腔顔面領域における痛みの発生メカニズム 岡田明子	24
Section 2	診断エラーを防ぐ歯原性歯痛における鑑別のポイント 小出恭代	28
Section 3	筋の痛みが引き起こす歯痛 滝澤慧大・野間昇	34
Section 4	神経の障害が引き起こす歯痛 山崎陽子	40
Section 5	臨床推論の展望 大久保昌和	46

第3章	臨床推論の実践例①	49
Introduction	3章の読み方 和嶋浩一	50
Section 1	下顎歯髄炎の痛みを上顎の痛みと間違えた症例 和嶋浩一	52
Section 2	慢性部分性移動性歯髄炎を筋・筋膜性歯痛と間違えた症例 飯田啓人	56
Section 3	咀嚼筋腱・腱膜過形成症による開口障害を筋・筋膜性疼痛と間違えた症例 滑川初枝	62
Section 4	筋・筋膜性疼痛をインプラントの痛みと間違えた症例 板橋基雅	68

Section 5	矯正治療中の筋・筋膜性疼痛の痛みを食片圧入による歯肉炎と間違えた症例 伏見詩音	74
Section 6	歯痛の原因が筋・筋膜性疼痛と納得してもらうのに苦慮した症例 田上亜紀	80
Section 7	三叉神経痛を歯髄炎と間違えた症例 瀬下博嗣	88
Section 8	三叉神経痛を帯状疱疹後神経痛、歯髄炎と間違えた症例 西須大徳	94
Section 9	下顎大臼歯部の急性炎症症状が強く、帯状疱疹の併発を見逃した症例 木津真庭	100
Section 10	歯冠破折による歯髄炎を見逃し、筋・筋膜性疼痛、帯状疱疹後神経痛を疑った症例 増田仁美	106
Section 11	神経障害性疼痛を義歯不適合による痛みと間違えた症例 棚原樹夢	112
Section 12	巨細胞性動脈炎による顎の疲労感を顎関節症と間違えた症例 池田浩子	118

第3章	臨床推論の実践例②	125
Section 1	直感的診断に分析的診断を加えて、正しい診断を導こう！ 和嶋浩一	126
Section 2	複数の医療機関を受診するも原因不明であった歯原性歯痛の2症例 小出恭代	130
Section 3	心臓性歯痛を歯周炎および筋・筋膜性疼痛と間違えた症例 黄地健仁	138
Section 4	無疱疹性帯状疱疹による歯痛を歯髄炎と間違えた症例 大塚友乃	144
Section 5	歯痛で口腔顔面痛専門外来を受診し、ラムゼイハント症候群後遺症が判明した症例 飯沼英人・和嶋浩一	150
Section 6	神経障害性疼痛による歯痛を根尖性歯周炎と10年以上間違えていた症例 大歳祐生	156
Section 7	歯肉痛で抜髄、抜歯などの治療後、神経障害性疼痛、筋・筋膜性疼痛と診断された症例 村岡渡	162
Section 8	前医の診断に影響され、外傷後三叉神経ニューロパチーを見逃していた症例 山本慧子	170
Section 9	痛覚変調性疼痛合併の疑いのある筋・筋膜性疼痛を歯原性疼痛と間違えた症例 片山暁恵	176
Section 10	片頭痛による歯肉の痛みを歯周病による痛みと間違えた症例 石井彩	182
Section 11	群発頭痛による歯痛を上顎洞炎による歯痛と20年間間違えた症例 長島郁乃	188
第3章の症例を読み解くための逆引きインデックス		194